

社会 中学校 第1学年

出題の意図及び正答率(中1)

評価の観点等

- 1 社会的な思考・判断
- 2 資料活用の技能・表現
- 3 社会的事象についての知識・理解

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点等			正答率
	大問	小問	通番		1	2	3	
地理的分野	1	1	1	世界の地域構成をとらえる世界の州区分を理解し、日本がアジア州に属することを理解している。			○	87.0
		2	2	地球上の位置関係を表すために必要な緯度や経度について理解している。			○	58.9
		3	3	時差ができる基本的な仕組みを活用し、バングラデシュの現地時間を計算し求めることができる。	○	○		52.9
	2	1	4	雨温図の基本的な読み方を理解し、そのデータを正確に読み取ることができる。		○	○	70.3
		2	5	日本各地の気候の特色を雨温図から読み取り、その地域の場所を考えることができる。	○	○		81.0
	3	1	6	2つの地点の高低差を等高線を用いて求めることができる。		○		65.7
		2	7	縮尺の意味を理解し、地形図上の直線距離から実際の距離を求めることができる。		○		62.5
		3	8	方位の規則を正しく理解し、それを活用して、地形図に表されている地域の様子を読み取ることができる。		○	○	68.6
		4	9	地図記号で示された地形図の様々な様子を読み取り、その地点の様子を判断できる。	○	○		72.0
	歴史的分野	4	1	10	弥生時代の集落の様子や、使われていた祭祀や農具などの金属器について理解している。			○
2			11	弥生時代には、大陸から稲作、金属器(青銅器、鉄器)が伝わり、人々の暮らしが大きく変化したことから、他の時代との違いを判断することができる。	○			90.3
5		1	12	6世紀ごろ、天皇を中心とする政治制度を築くために、働いた人物を理解している。			○	84.2
		2	13	年表を活用して年表の分類の観点を考察し、判断できる。	○			91.5
		3	14	政治が行われた場所と、その時代におこったできごとや文化遺産を結びつけて考えることができる。	○		○	75.8
6		1	15	文化財を室町時代の文化の特色と結びつけてとらえ、資料から見つけることができる。		○	○	49.6
		2	16	飛鳥時代から安土 桃山時代までの文化財を時代順に並べ、各時代の特色として理解している。			○	56.6
7		17	ヨーロッパ人の来航にかかわる課題を解決するために必要な資料を選択し、それを使って適切に説明することができる。	○	○		56.1	